

「得」1 万円で 1 万 3 千円分のお買い物 / 「プレミアム付商品券」7 月から受付開始



お得な 3 千円分で、いつもよりたくさんお買い物！

地域活性化のため、国の交付金を活用し、プレミアム付商品券を発行します。市内でのお買い物でお得に使えますので、この機会にぜひお申し込みください。

**子育て世帯
先行受付有り**

「印西市プレミアム付商品券」とは

- 内容…1,000 円券 13 枚つづり (1 冊)。13,000 円分の商品券を 10,000 円で販売。内訳は、大型店・中小店共通券 10 枚、中小店専用券 3 枚。購入には事前申し込みが必要です。
- ※中小店：店舗面積 1,000 m²未満の事業所など。
- 発行冊数…38,000 冊。



利用できる店舗

ステッカー (左図)・ポスター・のぼりがある、市内の店舗。7 月中旬に市商工会・市ホームページで紹介します。



申し込み 7 月 6 日 (月) ~ 24 日 (金) (消印有効)

- 申し込み方法…往復はがきの郵送。①住所、②氏名・ふりがな、③電話番号を記入し、印西市商工会へ (右図参照)。
- ※ **1 人につき** はがき 1 枚、1 冊の申し込み。
- ※申し込み多数の場合、抽選。
- ※市商工会・市ホームページに往復はがきの印刷フォーム有り。
- 対象…市内在住の人。

子育て世帯を応援！先行受付

- 市内在住で中学 3 年生までのお子さまがいる世帯は、先行申し込みを受け付けます (商品券の内容などは通常申し込み分と同じ)。
- 先行申し込み期間…6 月 22 日 (月) ~ 7 月 10 日 (金) (消印有効)。
- 先行申し込み方法…往復はがきの郵送。上記①②③のほか、④お子さまの氏名・ふりがな・年齢を記入。
- ※ **1 世帯につき** はがき 1 枚、1 冊の申し込み。

事前申し込み 「往復はがき」記入例

※申込者の情報は、当該事業目的以外には一切使用しません。

郵便往復はがき		印西市大森 三九三四—四	印西市商工会行	— 記入不要 — 返信文面は白紙のままで郵送してください。 後日、当選結果などをお知らせします。
52 円 往復	270-1396-1327			

郵便往復はがき		申込者住所	①住所 ②氏名 (ふりがな) ③電話番号 (携帯電話可) ④子育て世帯 (中学 3 年生までのお子さまがいる家庭のみ記入) お子さまの氏名 (ふりがな) 年齢 才
52 円 返信	申込者氏名様		

▲返信面
オモテ (商工会が返信する部分) ウラ (商工会に残る部分)
往復はがきのお求めは、郵便局窓口で購入のほか、郵便配達員にお申し付けください。

販売 8 月 3 日 (月) ~ 31 日 (月)

- 販売場所…**平日**：市内郵便局 (永治簡易郵便局は除く) (午前 9 時 ~ 午後 5 時、印西郵便局のみ午前 9 時 ~ 午後 7 時)。**土・日曜日**：印西市商工会館 (午前 9 時 ~ 午後 3 時・大森 3934-4：中央公民館隣)。
- 注意…購入時に、返信はがき (当選者用) を必ず持参してください。はがきを紛失した場合は販売できません。

利用 8 月 3 日 (月) ~ 12 月 31 日 (木)

問印西市商工会 (〒270-1327 印西市大森 3934-4・☎2750)。

「社会を明るくする運動」7 月は強調月間

「社会を明るくする運動」とは

犯罪や非行を防止し、罪を犯した人たちの改善更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする、すべての国民による全国的な運動です。

7 月は強調月間として、「社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」を統一標語に、市内の保護司、人権擁護委員、更生保護女性会のみなさんが中心となって啓発活動を行いますので、ご理解ご協力をお願いします。

少年非行などのお悩みは、千葉保護観察所 (☎ 043-204-7791) にご相談ください。

社会を明るくする運動青少年健全育成大会

現在のように社会の変化が加速し、流動化している時代の中で、青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。家庭・学校・地域、それぞれが青少年の育成に関わり、一体となった取り組みが求められています。

そこで、犯罪を誘発しない環境づくりを目指し、「社会を明るくする運動青少年健全育成大会」を開催します。

📅 7 月 4 日 (土)・午後 1 時 30 分 ~ (開場 1 時)。

📍文化ホール。

📖前年度の社会を明るくする運動作文コンテスト受賞者による、作文朗読など。

📺無料。
※託児コーナー有り。会場では、手話通訳と要約筆記を実施。

問社会福祉課厚生班 (☎内線 256)、生涯学習課生涯学習推進班 (☎内線 542)。



地域活動団体による太鼓の発表 (昨年)

お知らせ

募 集

任期付職員（一般事務）

8 月から勤務できる任期付職員（一般事務）を募集します。
●勤務期間：8 月 1 日（土）～平成 28 年 3 月 31 日（木）。
●賃金 114、735 円～127、680 円。
●月曜～日曜日のうち週 4 日（日 7 時間 45 分）、または週 5 日（日 6 時間）。

●場市役所または出先機関。

●窓口業務、電話対応業務、パソコンを使用した事務処理など。

●原則普通自動車運転免許を有し、地方公務員法第 16 条（欠格条項）の各号のいずれかに該当しない人。

●定 一人。

●用 7 月 3 日（金）（消印有効）まで

印西市障害者基本計画

策定委員

平成 27 年度に第 2 次障害者基本計画改定版を策定するため、策定委員を募集します。

この計画は、障がい者の自立と社会参加を支援するための施策の、総合的かつ計画的な推進を図るものです。

●任用期間：委嘱の日から平成 28 年 3 月 31 日まで。

●報酬：月額 7、500 円。

●用 市内在住の 20 歳以上で、年 2

に申込書（必要事項を記入し写真貼付）を左記まで郵送または持参。

※申込書は総務課、各支所、出張所で配付（市ホームページからダウンロードも可）。

●用 総務課人事職員班（〒270-1396 印西市大森 2364-12・☎内線 432）。



ごみの分別大事典シリーズ H27 -②

プラスチック製容器包装の出し方

今年 4 月に、「プラスチック製容器包装」(黄色の指定袋)としてごみ集積所へ出された資源物の品質を評価するため、印西クリーンセンターの引き取り業者による検査(中身の確認調査)が行われました。検査結果は、95%はきちんと分別された物が入っていましたが、一部、プラスチック製容器包装とならない物も混入していました。対象となるのは、中身を使い終わっていらなくなったプラスチックやビニールなどの容器や包装で、目安としては「**プラマーク**」(右図)が表示されています。具体的には、商品などの包装袋、チューブやトレーなどの容器、ペットボトルなどの外装ラベルやキャップ、梱包材などの発泡スチロールです。

なお、プラマークのないプラ製品は「燃やすごみ」へ、カミソリなどは「燃やさないごみ」とし、紙などに包んで「危険」と表示し指定袋に入れて出してください。危険物や医療系廃棄物が混入していると、収集員がけがをする恐れがあるので、絶対に「プラスチック製容器包装」には入れないでください。

●用 クリーン推進課クリーン推進班（☎内線 383）。

回の会議(原則、平日の昼間に開催)に出席できる人。

※ほかの付属機関などの委員になつてゐる人は応募できません。

●定 2 人以内。

●用 7 月 1 日（水）（消印有効）までに、申込書と小論文(テーマ「本市における今後の障害福祉のあり方」800 字程度)を左記まで郵送または持参。

※申込書は、障がい福祉課、各支所で配布(市ホームページからダウンロードも可)。

●用 申込書と小論文による審査を基本とし、必要に応じ面接を実施する場合有り。

●用 選挙結果は応募者全員に通知。障がい福祉課障がい福祉給付班(〒270-1396 印西市大森 2364-12・☎内線 261)。

印西市廃棄物減量等

推進審議会委員

一般廃棄物の減量や適正な処理に関し必要な事項の審議を行うため、廃棄物減量等推進審議会の委員を募集します。

●任用期間：委嘱の日から 2 年間（9 月の委嘱を予定）。

●報酬：月額 7、500 円。

●用 市内在住の 20 歳以上で、年 1

●用 3 回の会議(原則、平日の昼間に開催)に出席でき、廃棄物の減量化や資源化について関心があり、意見を述べることできる人。

●用 ※ほかの付属機関などの委員になつてゐる人は応募できません。

●定 2 人。

●用 7 月 17 日（金）（消印有効）までに、申込書と小論文(テーマ「印西市のごみ減量化及び資源化について」800 字以内)を左記まで郵送または持参。

●用 ※申込書は、クリーン推進課、各支所、出張所で配布(市ホームページからダウンロードも可)。

講 座・催し

「印西を詠む」俳句会

私たちの暮らしている印西市の自然や文化などを俳句に詠み、楽しむ会です。

●用 印西市俳句連盟主催、市教育委員会後援。

●用 7 月 11 日（土）・午前 10 時 30 分～午後 4 時。

●用 中央駅前地域交流館 1 号館（中央南）。

●用 1、000 円（参加賞、特選賞、お弁当代などを含む）。

●用 他 印西市を詠んだ俳句（当季雑詠）3 句を持参。

●用 6 月 30 日（火）までに電話で左記へ。岡田口（☎486848）。

2015 年度地域史研究講座

毎年恒例の「印西地域史講座」を開催します。

●用 ①北総の夜明け前Ⅱ戊辰戦争と東山道軍・赤報隊の悲劇。

●用 ②6 月 28 日（日）・午前 10 時～正午。

●用 ◆講師：中村勝氏（近世史研究家）。

●用 ③北総の夜明け後Ⅱ小金・佐倉牧開墾と裁判闘争。

●用 ④7 月 26 日（日）・午前 10 時～正午。

●用 ◆講師：中村勝氏。

●用 ⑤最近の邪馬台国論争と考古学の進歩。

●用 ⑥8 月 23 日（日）・午前 10 時～正午。

●用 ④臼井城主原氏と印西各地の城址を考える。

●用 ⑤9 月 27 日（日）・午前 10 時～正午。

●用 ◆講師：遠山成一氏（千葉歴史学会員）。

●用 ⑥我孫子・白樺派の村Ⅱ手賀沼湖畔に生きた文人たち。

●用 ⑦10 月 25 日（日）・午前 10 時～正午。

●用 ◆講師：三谷和夫氏（地域史研究家）。

●用 ⑧古文書を読んでみませんかⅡ古文書解読の魅力を語る。

●用 ⑨11 月 22 日（日）・午前 10 時～正午。

●用 ◆講師：小池康久氏（市職員）。

●用 【共通】

●用 中央駅前地域交流館 2 号館（中央南）。

●用 定 各回 50 人。

●用 費 各回 500 円（資料代など）。

●用 用 事前に住所、氏名、電話、希望講座名を記入し、FAX または、はがきで左記へ。

●用 岡印西地域史研究会事務局（〒270-1347 印西市内野 2-6-34-105 松本方・☎477177）。

ちば里山カレッジ

里山林の保全整備活動に必要な知識と技能を、座学とフィールド実習により体系的に学びます。

●用 ◆特定非営利活動法人ちば里山センター主催。

●用 ⑦7 月 25 日（土）～9 月 26 日（土）（全 8 回）。

●用 場 千葉市きばーるほか。

●用 定 30 人。

●用 費 一般 8、000 円、学生 5、000 円。

●用 ⑧7 月 20 日（祝）までに電話、またはメールで左記へ（先着順）。

●用 場 特定非営利活動法人ちば里山センター（☎0438-6218895・✉info@chiba-sa-toyama.net）。

文化ホール情報——☆

7/12 (日) いんざい寄席

今年は林家正蔵、柳家三三、立川談笑、宮田陽・昇さんをお迎えします。
●用 7 月 12 日（日）・午後 2 時開演。
●用 費 大人 3、000 円、子ども（高校生まで）2、000 円。
●用 ※全席指定・障がい者割引有り。
●用 ※未就学児の入場不可。
●用 用 チケットは、各プレイガイドで販売中。

8/2 (日) たかお晃市マジックショー シークレットガーデン

目の前で起る不思議な体験。俳優として活躍した、たかお氏が創る芝居とマジックを融合させた想像の世界。オンリーワンのスタイルで人々を魅了します。
●用 8 月 2 日（日）・午後 6 時開演。
●用 費 大人 2、000 円、子ども（高校生まで）1、000 円。
●用 ※全席指定・障がい者割引有り。
●用 ※3 歳以上入場可。
●用 用 チケットは文化ホール窓口で販売中。

9/13 (日) 東京大衆歌謡楽団 ～昭和初期の名曲を唄う～

日本人として唄わなければならぬ歌があると、昭和歌謡を今に伝えます。
●用 メロディーのやすらぎを、歌詞の心を、昭和時代の夢を、一緒に歌い手拍子をして、懐かしさも新たに感じてください。
●用 9 月 13 日（日）・午後 3 時開演。
●用 費 大人 1、500 円、子ども（高校生まで）500 円。
●用 ※全席指定・障がい者割引有り。
●用 ※チケットは、7 月 11 日（土）から各プレイガイドで販売開始。7 月 14 日（火）から電話予約可。

プレイガイド
文化ホール
中央駅前地域交流館
小林公民館
そうふけ公民館
印旛公民館
本埜公民館
文化ホール
☎48811
〒270-1327
印西市大森 2535
※各種割引や詳細は、市ホームページまたは文化ホールへお問い合わせください。
※電話予約の受け付けは、文化ホールのみです。

草刈り清掃などに協力

梅雨の時期に入り、道路や歩道に隣接する民地から雑草や植栽が伸びてきています。道路や歩道上へ伸びた雑草や植栽を放置しておくとう通行の妨げとなり、大変危険です。土地所有者のみなさんの草刈りや清掃などのご協力をお願いします。

●用 国土管理課維持班（☎内線 793・798）。

福祉

障がい福祉 巡回相談

相談員が、障がい福祉サービスの利用や悩みなどの相談に応じます（要予約）。
図場左表のとおり。

◎巡回相談 日程表◎

日 時	会 場
第 1・3 火曜日・午前 10 時～正午（祝日の場合はなし）	印旛支所 1 階相談室（美瀬）
第 2・4 火曜日・午前 10 時～正午（祝日の場合はなし）	本埜支所 1 階相談室（笠神）

印いんば障害者相談センター（☎992501）。

図障がい福祉課障がい福祉支援班（☎内線 266）。

印西市デイケアクラブ

「いのちのよみ」

心の病気で悩んでいる人が集

まり、創作活動、軽スポーツ、調理などを行うデイケアクラブを実施しています。

図毎月第 1～4 週の金曜日・いずれも午前 10 時～正午（第 4 金曜日は午後 1 時）。

図総合福祉センター（第 1・2 金曜日）、松山下公園（第 3 金曜日）、高花老人福祉センター（第 4 金曜日）。

図心の病気で悩んでいる人と家族。

図事前に左記まで。

図障がい福祉課障がい支援班（☎内線 268）。

第 2 回オストメイト

社会適応訓練講習会

図7月11日（土）・正午～4 時。

図香取市佐原中央公民館。

◆講師：岡部久代氏（千葉県立佐原病院皮膚・排泄ケア認定看護師）。

図①講演：テーマ「基本的ス トーマケアとオストメイトのフターケアについて」。

②補装具展示相談会（正午～午

後 1 時と休憩時間）。

図オストメイトと家族、医療関係従事者、地域担当職員、訪問看護師、介護福祉士ほか。

図無料。

図千葉県オストミー協会（☎043-309-7571）。

※問い合わせは月曜、火曜、金曜日（午前 10 時～午後 5 時）。

認知症カフェ

第 1 回 いんざい

オレンジカフェ

認知症の人と家族、地域住民、専門職の誰もが参加でき集う場です。みなさんで情報交換をしたり、日々の生活で心配なことなどを相談しながらゆつくりと楽しい時間を一緒に過ごしましょうか。

図6月26日（金）・午前 10 時～正午（全 6 回開催予定）。

図中央駅前地域交流館 1 号館（中央南）。

図認知症の人と家族、認知症に関心のある人。

図 30 人程度（認知症の人、10 人程度含む）。

図一人 200 円（参加費）。

図事前に電話で左記へ。

図特定非営利法人秋桜（印西市認知症カフェモデル事業受託事業者・☎975535）。

そのほか

男女共同参画週間

6月23日～29日

地域力×女性力

無限大の未来

女性と男性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、政府や地方公共団体だ

市役所職員を騙った詐欺に注意

市内で、市役所職員を名乗る者が、ご家庭を訪問し、「ゴミの集積所が新しくなったので一緒に見て欲しい」などと言い、家人を外へ連れ出し、その隙に家に侵入し、窃盗を行う手口の犯罪が発生しています。

市役所職員がご家庭に伺う際は、名札などを所持し身分を明らかにしています。怪しいと感じたら、すぐに印西警察署へ通報してください。

図市民安全課安全パトロール班（☎内線 714）、印西警察署（☎420110）。



◎教科書展示会日程表◎

日 時	会 場	連絡先
6月19日（金）～7月3日（金）・午前 9 時～午後 9 時（6/29、7/3 は午後 5 時まで）※休館日 6 月 22 日（月）	佐倉教科書センター（佐倉市立中央公民館）	☎043-485-1801
6月19日（金）～7月2日（木）・午前 9 時～午後 5 時（休館日なし）	成田移動教科書展示場（成田市中央公民館）	☎275911
6月19日（金）～7月3日（金）・午前 9 時～午後 4 時 30 分（土曜・日曜日を除く）	印西市教育センター	☎470400

図学務課学務班（☎内線 522）。

教科書展示会

次年度、小学校で使用する教科書を前もって見ることができるよう、教科書展示会を開催します。

図・場は次のとおり。

千葉県道路公社が管理する

有料道路が終日無料

夏期無料開放

キャンペーン

図7月1日（水）～9月30日（水）。

図7路線（東総有料道路、鴨川有料道路、千葉外房有料道路、東金九十九里有料道路、利根かもめ大橋有料道路、銚子連絡道路、九十九里有料道路）。

※詳しくは県道路公社ホームページ参照。

図県道路計画課（☎043-231-3295・http://www.chiba-dourokousha.or.jp/index.html）。

6月22日・7月7日はライトダウンキャンペーン

「ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。」をスローガンに実施します。

「夏至の日」と「七タワールアース・デイ」の午後 8 時から 10 時の間、一斉消灯にご協力ください。

図環境保全課環境保全班（☎内線 365）。

ミニ・ガイド

ダンスコンテスト出場者募集

変調印西音頭を振り付けし踊ってみませんか。

図8月29日（土）・午後 1 時～。

図文化ホール多目的室（大森）。

図団体、個人の部（最優秀者には賞品有り。ジャンルは問わず、未発表のものに限りです）。

※印西音頭の CD はサザンプラザ、市民活動支援センターで貸し出し。

図8月1日（土）までに左記へ。

図印西音頭保存会・浅野（☎971291）。

OK バジ氏とネパール支援報告会・囲む会

OK バジこと垣見一雅氏と一緒に楽しみませんか。

図6月28日（日）・午前 10 時～午後 4 時。

図印旛公民館（瀬戸）。

図ビデオ上映、講演会、写真展示、アトラクションなど。

図無料。

図菅野明子（☎378295）。

四街道特別支援学校「教育・医療相談会」「学校公開」

国立病院機構下志津病院医師と本校職員で実施します。

図6月30日（火）・午後 1 時～4 時。

図県立四街道特別支援学校。

図病気の子どもとの教育相談、学校説明、校内参観。

図保護者、教職員ほか。

図事前に左記へ。

図四街道特別支援学校・角田（☎043-422-2609）。

ハンドベル無料体験会

イングリッシュハンドベルを演奏してみよう。

図①6月25日（木）、②7月10日（金）・いずれも午前 10 時 30 分～。

図①中央駅前地域交流館、②大塚 3 丁目集会所。

図いずれも 12 人。

図6月17日（水）までに電話で左記へ。図フェアリーベル・金田（☎090-9670-3455）。

※電話は午後 5 時以降。

図「ストレッツ・フレッツ シュ」サークル会員募集

楽しく身体を動かしませんか。図毎週木曜日・午後 3 時～5 時（祝祭日を除く月 4 回）。

図中央駅前地域交流館（中央南）。

図 1,000 円（月額）。

※無料体験・見学は随時可。

図事前に左記へ。

図千葉みき江（☎/FAX 958492）・角直子（☎463625）。

ラクティナクラブ育児支援講座

離乳食と母乳育児をテーマに楽しく子育てを学びませんか。

図6月23日（火）・午前 10 時 30 分～正午（受け付け 10 時 15 分）。

図中央駅前地域交流館 1 号館（中央南）。

図母乳育児をしているママさんと家族。

図無料。

図不要。

図ラクティナクラブ・安藤（☎470516）。

家庭倫理の会白井市「子育てカフェ」

「子どものやる気をのばすには」受験生を持つご両親へ。

図6月28日（日）・午前 10 時～正午。

図ザ・ワークス（白井市）。

◆講師：尾嶋綾子（一社倫理研究所）。

図 500 円（参加費、茶菓代）。

図6月26日（金）までに左記へ。

図家庭倫理の会白井市・小西（☎/FAX 047-491-6415）。

文芸コーナー

短歌

俳句

加藤恵美子選

田口 三石選

満開の桜は曇にとけ入りてことさら枝のくろろと見ゆ
となり家の媼は施設に入りゆきてしづもる庭に新芽伸びゆく
手入れせず草伸ぶる畑にチューリップの赤白黄の花の際立つ
山峡の宿に集へる老父母と妹と我と三百歳なり
春のきて梅と椿と咲きにしが目白は未だ影さへ見えす
高々と泰山木に風わたる
少年の日やグローブの薔の華
目に映るものさはさはと新樹かな
太陽の匂いたたみぬ鯉のぼり
大けやし影を濃くして五月かな
滝野 西村 きぬ
大森 中澤 とし
滝野 大友 清子
内野 宮川 太郎
小倉台 川上 謙一

＜短歌・俳句をお寄せください＞

一人一首または一句で未発表のもの。毎月 20 日締め切り（必着）です。投稿は、郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、広報広聴課広報広聴班まで。

施設がいに★

木下取水場

広報レポーター：
宇野 建夫（小倉台）



利根川にある取水門。ここから水を取り込みます



取り込んだ水は分水井(中央奥)から沈砂池(手前)に送られます

その昔、市の北端をとうとうと流れる利根川沿いに住んでいる家では、水くみ舟を持つことが珍しくなかったと柳田国男は校訂した「利根川図志」（文庫版）序文で書いています。鬼怒川から利根川本流に流れ込む澄んだ水を舟でくみ上げ、その手間のかかった水で茶をいれ、お客をもてなす習慣があったと思われま



浄水場へ水を送る取水ポンプ。大きいものは高さ約 5m です

す。その利根川の水をくみあげる千葉県水道局北総浄水場の「木下取水場」を取材するため、竹袋地先にある施設に伺いました。木下取水場は千葉ニュータウンなどに水道を供給する北総浄水場の施設のひとつで、敷地面積約 3 万 m²、取水門・分水井・沈砂池・取水ポンプなどからなる施設です。「一日の最大取水量は約 45 万 7 千 m³で、千葉県水道局最大の取水施設です」と北総浄水場次長の長島さんが説明してくれました。

利根川の取水門で取り込まれた水は堤の下を通り、取水場敷地内にある「分水井」という深さ約 14 m の大きな井戸に到達します。その後原水は隣接する「沈砂池」を水に含まれる砂やごみなどを沈殿さ

ほっとレポート

広報レポーター：中谷 久美好（内野）



田植えに奮闘
学校水田で環境学習

ゴールデンウィーク明け、本埜中学校の田植え体験に同行しました。本埜は『本埜米』というブランド米があるほど稲作が盛んな地域ですが、「子どもたちは田植え経験のない子ばかり。そんな子どもたちに田植えを経験させたい」と語る山本教頭先生。田植え体験は保護者や地元のみなさんが支え、長年続けてきた初夏の恒例行事なのです。T シャツにサンダルというラフな服装の 1 年生 20 人とともに、校庭の向こうに広がる 935 m²（約 1 反）の田んぼへ移動。4 人の指導員のみな

さんは「線引き」と呼ぶ道具で、田んぼの縦と横方向に線を引いて田植えの準備中でした。



▲指導員の村越さん
苗は指導員の村越さんが育てた「コシヒカリ」



いタオルの子、苗多すぎ！」指導員さんの声が飛びます。苗は 3〜4 本の束で植えていくと、横に枝分かれしてよい稲に育つそうです。そんな中、一人黙々と植えていたのが健一君。将来の夢が農家と聞き、

なぜ？と聞くと「機械がカッコイイから」。色々な視点もあるんだと感心しました。田んぼも半分が植え終わったところ、いたずらっ子の登場。「おっ、田んぼに座ってる子がいるぞ！」とうとう（尻もち）犠牲者が出たなと愉快そうな指導員さん。田んぼにはまった男子はその後、ますます泥だらけになり、まわりの子に泥が飛び散り「きゃー！」でも、みんな楽しそう♪



泥まみれになりながらも一生懸命植えました

さがわかった」などお米作りの大変さを感じていた様子でした。収穫までの水の管理などは、指導員のみなさんがサポート。例年 300 キロから、多い時で 480 キロのお米が収穫できるとか。秋の収穫が楽しみです。

リサイクル情報広場

掲載情報は 5 月 28 日現在
■グリーン推進課グリーン推進班（☎内線 383）

◆ゆずります情報

①犬の洋服②シングルベッド③スキー板・ストック・スキー靴④ガラスケース入りわらべ人形⑤チャイルドゲート⑥キーボード。

◆さがしています情報

①補聴器②英（はなぶさ）幼稚園の制服、体操着③天神幼稚園男児制服、体操服④しおん幼稚園体操服（半袖）⑤木刈小学校体操服上下⑥木刈小学校ジャージ上⑦きかり幼稚園体操服長ズボン、半ズボン⑧杵と臼⑨和装着付け練習用ボディ（マネキン）⑩天神幼稚園女子制服、体操服⑪しおん幼稚園女子制服⑫こいのぼり⑬ベビーカー。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月 5 日は「ノーレジ袋デー」です。
お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

